

分野:専門分野Ⅱ 科目:精神看護学方法論Ⅰ		単位 (時間)	1 (30時間)	開講 時期	1年次後半
講師名	精神科病院臨床医師 教員	実務経験	医療機関に医師として勤務 医療機関に看護師として勤務経験あり		
授業概要	精神の障害について具体的に学び、対象の障害された側面について理解し、人間を総合的に理解する基礎作りを図るとともに、看護師としてのコミュニケーションのあり方を理解する				
到達目標	1.精神疾患の特徴・症状・経過及び主要な検査と治療について理解できる 2.良好な人間関係構築を意図した患者とのコミュニケーションのあり方を理解し、実践できる				
授業計画		授業内容	授業方法	講師	
	1 2 3 4 5 6 7	精神疾患【 15時間 】 1.主な精神障害 1)症状性を含む器質性精神障害 2)精神作用物質使用による精神・行動の障害 3)統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害 4)気分(感情)障害 5)神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 6)生理的障害、身体要因に関連した行動症候群 7)成人の人格・行動の障害 8)精神遅滞 9)心理的発達障害 10)小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害 2.主な検査と治療 1)臨床検査 ①脳波検査 ②脳の画像検査 ③脳脊髄液検査 2)薬物療法 ①抗精神病薬 ②抗鬱薬 ③気分安定薬 ④抗不安薬 ⑤睡眠薬 ⑥抗てんかん薬 3)精神療法 ①個人精神療法 ②集団精神療法 ③認知行動療法 4)リハビリテーション療法 ①作業療法 ②生活技能訓練	講義	医師	
	8 9 10 11 12 13 14 15	終了試験 コミュニケーション【 15時間 】 1.患者-看護師の人間関係構築の意義 2.看護としてのコミュニケーション 3.コミュニケーションの実際 1)「聞く」と「聴く」 2)客観的理解と共感的理解 3)共感的理解を言葉にする 4)共感的理解と肯定・同感 5)「質問」と「問いかけ」 6)障害受容と看護 7)「しっかり聴く」か受け流すか 8)患者と接するときに気をつけたいこと 4.プロセスレコードの活用 終了試験	講義 及び G.W.	教員	
使用教材等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2]精神看護の展開 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ				
評価方法	学科試験				

分野:専門分野Ⅱ 科目:精神看護学方法論Ⅱ		単位 (時間)	1 (30時間)	開講 時期	1年次後半
講師名	精神科病院臨床看護師 教員	実務経験	看護師として医療機関に勤務		
授業概要	精神の疾病・障害がある人の諸問題を看護の視点からアプローチし、自立・回復に向けての援助の実際を学習する。また、精神医療保険チームの連携や社会復帰に向けた精神科リハビリテーションと看護の役割について理解する。				
到達目標	1.精神の疾病・障害がある人の生活行動上の問題や症状に対する看護の実際について説明できる 2.精神の疾病・障害がある人の治療過程に応じた看護の実際について説明できる 3.地域で暮らす精神障害者への看護のあり方について説明できる 4.精神の疾病・障害がある人の看護の展開方法がわかる				
授業計画	授業内容			授業方法	講師
	1	精神看護学方法論Ⅱ【 15時間 】 1.主な精神疾患・精神症状への援助 1)統合失調症、妄想性障害 2)神経症、ストレス関連障害 3)人格・行動の障害 2.セルフケアの援助 1)食物・水分の摂取 2)呼吸 3)排泄 4)清潔と身だしなみ 5)活動と休息 6)対人関係 7)安全 3.症状マネジメント 1)服薬自己管理への支援 2)心理教育 3)リラクゼーション 4.社会復帰への援助 1)リハビリテーションの概念 2)国際生活機能分類(ICF) 3)長期入院患者の退院支援 4)就労移行支援 終了試験		講義	臨床 看護師
8	看護過程の展開【 15時間 】 9 1.対象の理解 10 <オリエンテーション> 11 入院環境と患者の生活状況 看護の実際 等について 12 2.事例より学ぶ 13 慢性期にある統合失調症の患者についてのペーパーシミュレーション 14 15 終了試験		講義 及び G.W.	学内 教員	
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1]精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2]精神看護の展開 ザ・ロイ適応看護モデル 看護診断ハンドブック 他				
評価方法	学科試験				